



Roche ロシュグループ

ドイツ証券カンファレンス

中外製薬株式会社
取締役専務執行役員 兼 CFO
児玉 龍三

2010.9.29

将来見通し

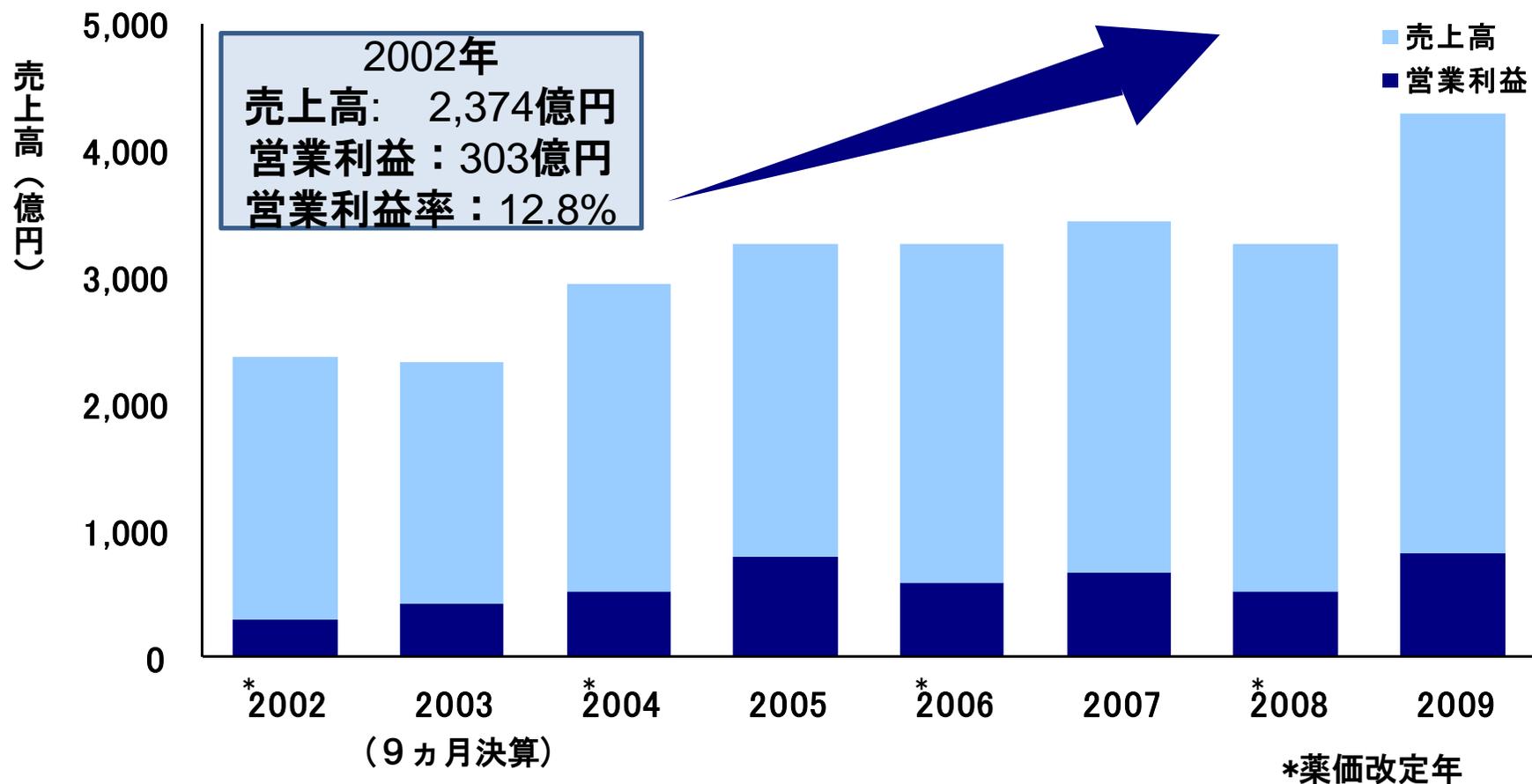
本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

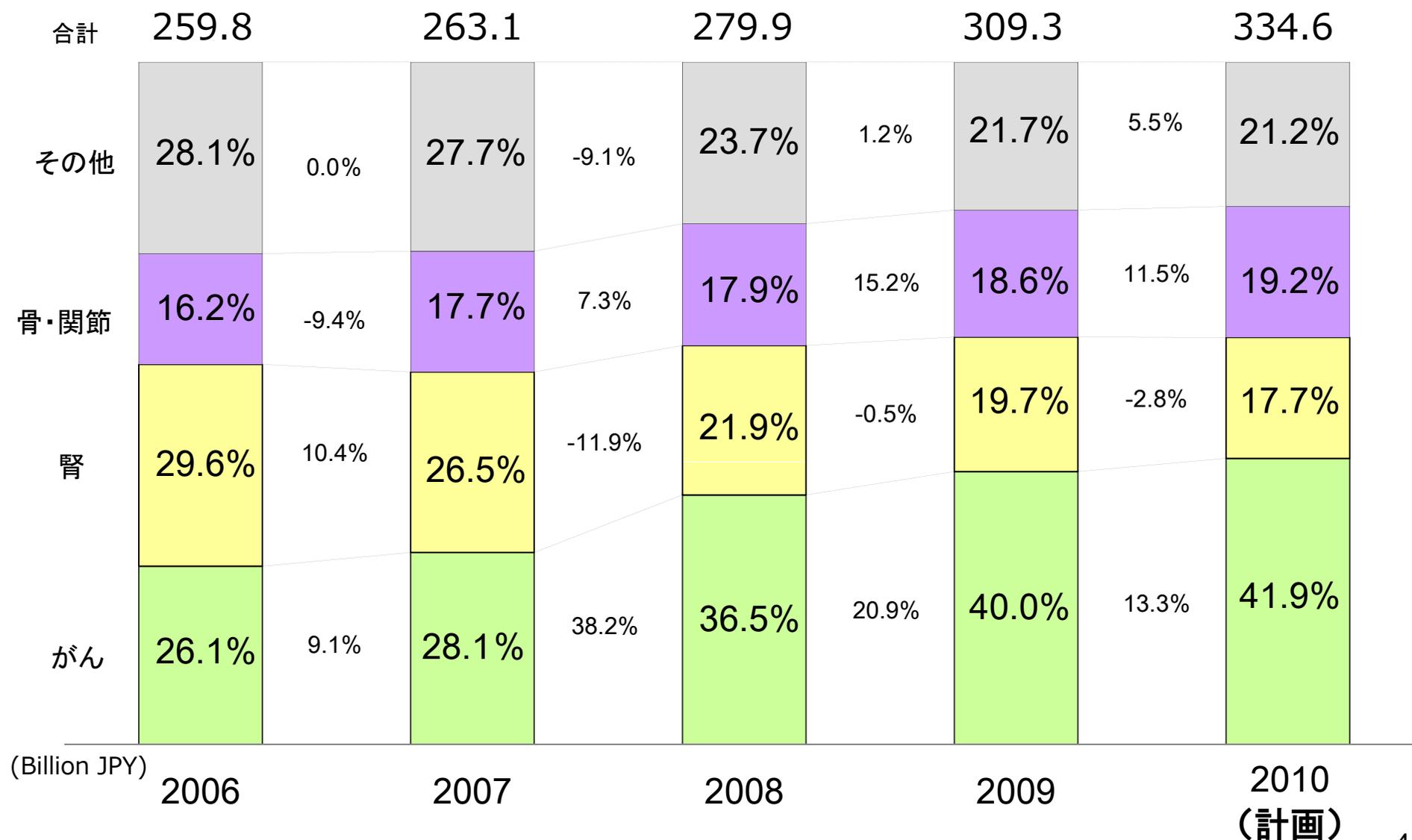
売上・営業利益の推移

売上は約1.8倍、営業利益は約2.7倍に

2009年
 売上高: 4,289億円
 営業利益: 826億円
 営業利益率: 19.3%



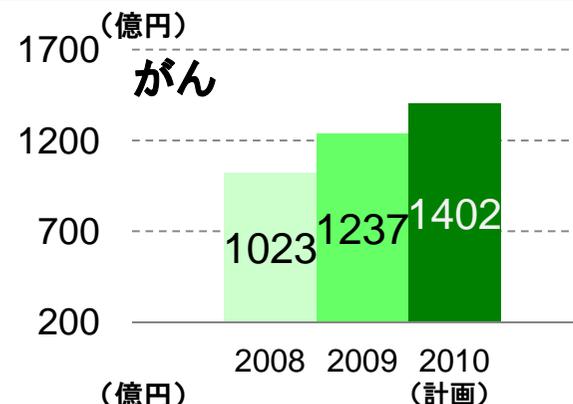
国内売上構成比の推移 (タミフルを除く)



主要領域国内売上状況

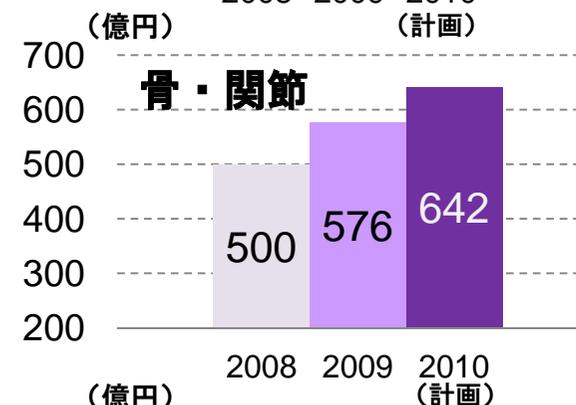
がん

アバスチン、ゼローダ：前同比50%以上の売上増により成長を牽引



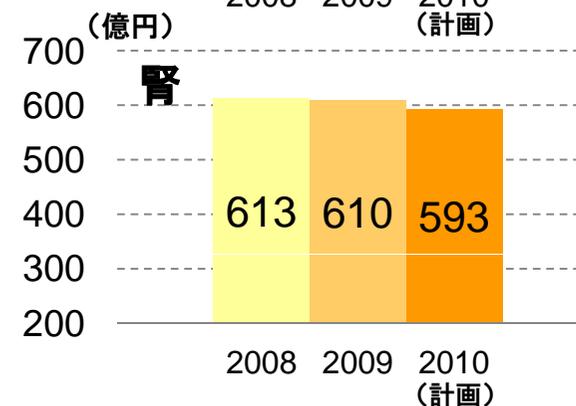
骨・関節

アクテムラ：生物学的製剤の第一選択薬の地位確立に向け力強く伸長



腎

エポジン：発売20周年を迎え、確立された安全性・有効性をベースに健闘



がん領域 主要製品の状況

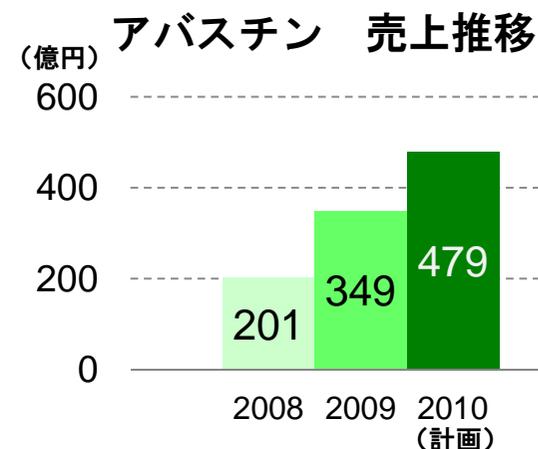
■ アバスチン

□ 大腸がん、肺がんともに順調な市場浸透

◆ 前同比30%以上の売上増加見込み

□ 適応拡大状況

◆ 乳がん（2009年申請済）、結腸がん（術後）、胃がん等で開発中

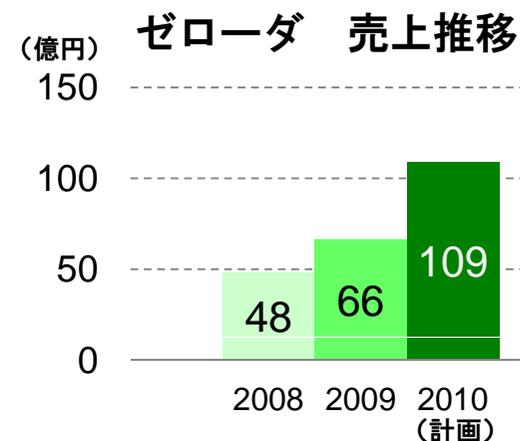


■ ゼローダ

□ XELOX療法の適応拡大承認に伴い
前同比60%以上の売上増加見込み

□ 適応拡大状況

◆ 胃がん（2010年公知申請済）



骨・関節領域 主要製品の状況

■ アクテムラ

□ 世界約50カ国以上で発売

- 三極展開の本格化

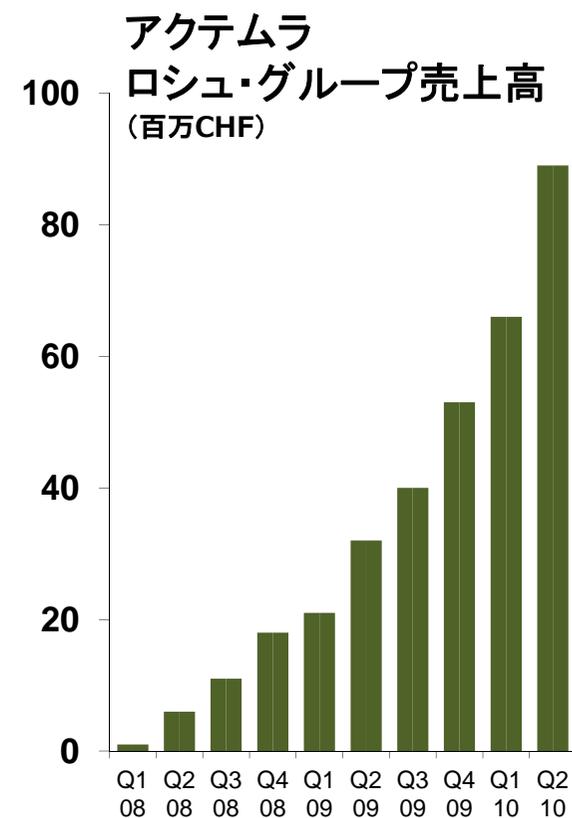
米国：リウマチ専門医の5割以上が使用開始

国内：使用患者の40%弱が1st line

全例調査解除（8月 国内）

□ 適応拡大状況

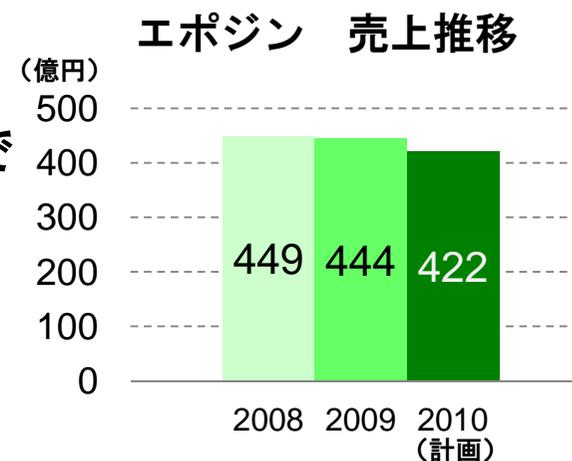
- 皮下注製剤の国内P3開始（5月）



腎領域 主要製品の状況

■ エポジン

- 競争激化、薬価改定の影響も保存期市場でシェアを伸ばし微減に留める



■ RG744

- 2009年7月 申請（予定適応症：腎性貧血）
- 投与頻度を月1回へと大幅に減らしながらもヘモグロビン値を安定的に維持可能

2010年第2四半期 損益の概要

【億円】	実績	予想（2月3日公表）					2008年 1-6月 対通期実績 進捗率 (%)	2009年 1-6月 対通期実績 進捗率 (%)
	2010年 1-6月	2010年 1-6月	達成 状況	達成率 (%)	2010年 1-12月	進捗率 (%)		
売上高	1,824	1,891	▲67	96.5	4,185	43.6	44.6	44.7
製商品売上高	1,806	1,874	▲68	96.4	4,140	43.6	45.0	44.4
タミフルを除く	1,686	1,706	▲20	98.8	3,753	44.9	45.7	46.8
タミフル	120	168	▲48	71.4	387	31.0	19.0	33.3
その他の営業収入	17	17	+0	100.0	45	37.8	19.6	58.2
売上原価	805	-	-	-	1,845	43.6	44.3	43.5
売上総利益	1,018	-	-	-	2,340	43.5	44.8	45.7
営業費	477	-	-	-	1,050	45.4	44.4	46.9
研究開発費	266	-	-	-	590	45.1	45.5	44.3
営業利益	276	265	+11	104.2	700	39.4	44.8	45.0
対売上高(%)	15.1	14.0	-	-	16.7	-	-	-
経常利益	262	270	▲8	97.0	705	37.2	42.4	48.1
当期(四半期)純利益	164	167	▲3	98.2	440	37.3	48.1	46.5

利益配分の方針及び当期・次期の配当

■ 方針

安定的な配当を基本とし、戦略的な資金需要や業績見通しを勘案した上で、平均して40%前後の連結配当性向を目標とする

- 2009年12月期の年間配当 40円：17円＋17円＋6円（特別配当）
- 2010年12月期の年間配当（予想）34円：17円＋17円



お問い合わせ先：広報IR部

投資家の皆様：IRグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：内田、渡辺、時田、喜多村